



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党  
八千代市議団  
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>

日本共産党控室メール: [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第582号  
2023年2月20日

発行  
日本共産党  
八千代市議会議員団  
八千代市大和田新田  
312-5

## 人権が大切にされる学校を

昨年、日本共産党市議団は市民アンケート調査を行ないました。市民が「学校や教育について実施してほしいもの」の1番は「体罰やいじめの対策」で、328人の方が答えていました。大変に深刻な問題だと思います。

体罰は先生と子どもとの関係です。いじめは子ども同士の関係がほとんどです。どれも人間関係の問題であり、まさに教育現場で解決しなければならない課題です。

子ども一人ひとりに人権があるのに個人の尊厳が大切にされていない学校環境を早急に改善しなければならないことが求められているということです。

## 校則を子ども自らが変える学校に

日本共産党市議団は議会の中で、子どもが納得できない校則・決まり、特に服装や髪型等について取り上げ、教育委員会の姿勢をただしてきました。こういう中でこれまで子どもの権利条約に消極的だった文科省は、日本共産党の国会議員団の声に押され昨年「生徒指導提要」(文部科学省が発行した生徒指導に関する学校・教師向けの手引き書)を見直しました。そして「安心・安全な学校づくりは生徒指導の基本」と位置付け、子どもの権利条約の理解は教職員、児童生徒、保護者、地域にとって必須」としたのです。

校則見直しの際には子どもが参加して、意見を表明することが大切であるとされました。さらに学校のルールを無批判に受け入れるのではなく、その根拠や影響を考え、身近な課題として自ら解決することが教育的意義があるとされました。

## 全ての学校が取り組むべき課題

八千代市内では昨年までに校則の見直しを行っている学校は5校でしたが、今年から全ての学校で見直しが始まります。「生徒指導提要」には社会の変化等をふまえて、その意義を説明できない校則について、絶えず見直しをすることが求められます。「校則によりマイナスの影響を受けている子どもがいないかどうか検証し、いる場合は見直す」と明記されています。また、制定にあたっては少数者の意見も尊重することになっています。

制服(奨励服)が男子用、女子用と区分けされているのはLGBTQやジェンダーの視点から考えても不合理であり、今後取り組むべき課題と言えます。少数者の意見尊重の視点から考えれば、制服を着ても着なくても自分たちで選べるようにすることを求めています。

